



越え、飛躍的な発展を遂げてきました。急速な都市化が進み人口も3万4千人になりつつあります。今後は、益城町の持つ交通至便と生活環境に恵まれた地理的条件の優位性を十二分に生かし、誇り、しあわせ、夢、住民みんなの笑顔と、愛情あふれる日本一住みよいまちの実現を目標に、町民と心を一つにし、大きく飛躍させていきたい」と力強く述べました。

来賓祝辞の後、町の発展に貢献があった特別自治功労者（町長、助役、副町長、収入役、教育長）、自治功労者（議長および在職12年以上の議員）、各種委員表彰者（10年以上在任の各種委員）、計66人を表彰しました。

受賞者を代表して、岩村久雄元町長（木崎）が「合併後の益城町は、吉田町長に始まり、川口町長の時代に現在の町づくりの基盤が作られました。

現在は、住永町政2期8年間のもとの町の経済発展、町づくりと順調に進んでいます。財政面でも安定しており、今では、県下有数の財政健全団体であります。こうした地道な取り組みを、今後も今まで通り取り組んでいただき、日本で一番住みよいまちづくりへの舵取りに努めていただきたい。

町の功労者として表彰いただき、益城町民のみなさんに感謝します」と謝辞を述べました。

最後に、津軽三味線演奏者の高



崎裕士氏（広崎3町内）が春の桜をイメージした軽やかな創作曲と、代表曲津軽じょんがら節を演奏。祝演として式典に華を添えました。その力強く迫力ある音色に参列者から惜しみない拍手が送られました。



右から特別自治功労者代表岩村久雄氏、自治功労者代表小路猛氏、各種委員表彰者代表畠田セツコ氏

町制50周年から10年間の出来事



保健福祉センターオープン
平成25年5月、旧健康管理センターが狭小となり、新たな健康づくりの拠点として惣領地区に新築移転。愛称は「はびねす」。



益城中央小学校新築移転
平成22年3月、親しまれてきた旧校舎が老朽化のため新校舎に移転。新しい益城中央小学校がスタート。



交流情報センターオープン
平成21年4月、図書館機能を併設した町民の交流スペースとしてオープン。愛称「ミナテラス」に決まる。



陸上競技場完成
平成18年8月、全天候型競技場で400mトラック、JFA公認人工芝サッカー場を備えた生涯スポーツの拠点が完成。